

令和3年度 第5回常任理事会 議事録

日 時 令和3年9月25日(土) 9:00~11:30

場 所 ホテルノースシティ

出席者 印藤智一、丸山道博、冢近昭彦、田中昌幸、齊藤幸治、
石崎 賢、川崎尚子、浅野泰弘、笹森恭之、多田吉宏、
奥山 諭、藤原 正
(総務) 嵯峨亘道、明井寿枝、坂本雅春(議事録)

<進行：丸山常任理事>

1 開 会

議事録署名人に、印藤理事長のほか、丸山常任理事、奥山常任理事を指名

2 理事長あいさつ(印藤理事長)

役員改選後初めての理事会となる。理事会終了後、正副委員長会議も予定しており、協会の課題について協議する。強化育成基金は2年程度でなくなる状況で、これまでは国際大会での収入源があったが、今後は財務について検討が必要。必要な部分には支出するが、財源の確保、Vリーグのチケットやポロシャツ、Tシャツ販売など、検討を重ねていく必要があるので、みなさんで知恵を出し合っていく必要がある。次回常任理事会で提示したいと考えているのでよろしく願います。

3 協議事項

(1) 第2回理事会の開催について

①高校選手権大会北海道予選会及び高校新人大会の開催について(石崎競技委員長)

【高校選手権】

・コロナ感染者を出さない、役員を最小限に、開催地区協会に迷惑をかけないことを最優先の方針として、参加チーム数削減、日程削減を検討する。

・きたえーると異なり会場費の減免がなく、財源確保が課題。

→財源確保の課題については、これまでも札幌協会に全面的に収支をお任せしている。昨年度はコロナ対策費用等を道協会から支出しているし、大会開催後の赤字対応については、申請に基づき、約半額を道協会から補填する制度があるので、当初から全額負担ということにはならない。

・安心・安全な大会運営を行うため、PCR検査、抗原検査を実施したい。その際の経費について、道協会の基金を活用したい。

・PCR検査は、予算・時間的に実施困難。抗原検査は、高校以外のカテゴリーでも活用するため、道協会に検査キットを保有することは可能だが、どのようなケースで使用するか等の検討が必要。

②各特別会計からの繰出しについて(齊藤総務委員長)

国体少年男女選抜チームのユニフォームの経年劣化が進んでいるため、財政調整基金から、更新費用60万円の繰出しと、12月18日に開催を予定している「創立90周年記念事業」の収入経費の一部として、特別事業等基金から、120万円の繰出しについて提案し、承認された。

③チャレンジ・ファンド規程の廃止について(齊藤総務委員長)

寄付者の意向により、寄付先が北海道協会から札幌協会に移行されたことに伴い、ファンド運用を図るための財源確保が見込めなくなったため、令和3年9月25日を施行期日として、規程廃止の提案し、承認された。

④議事録押印廃止の運用について(齊藤総務委員長)

国の押印廃止の取組みに呼応し、事務負担の軽減と効率化を図るため、議事録の「記名押印」の

取扱いを、同等の効力を有する「署名」とし、令和3年9月25日から直近評議員会開催日までの期間で運用する提案を行い、承認された。

⑤各委員会の現状と課題について

・総務委員会（齊藤総務委員長）

現状では、「各種会議の開催」を計画どおり進め、「財政運営等」では、各会計の執行管理と補正対応等を適宜進める。また、課題は、「予算執行状況の把握及び補正予算対応」、「協会法人化の検討」、「協会創立90周年記念事業の開催」となり、いずれも課題解決に向け対応していく。

・審判委員会（川崎審判委員長）

・強化委員会（奥山強化委員長）

約2年のコロナ禍により強化学業の縮小が続き、苦しい状況が続いている。指導者の発掘・育成についても途絶えてしまっている感があるので、何とかできることを諦めずに継続していく。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

(2) その他

①90周年記念事業表彰候補者の決定について（齊藤総務委員長）

一般表彰の北海道協会関係では18名、地区協会・加盟団体関係では、滝川協会から本間公男氏、高体連から杉木 恵氏の2名の追加推薦があり、計42名が対象。

特別表彰の企業・団体・自治体関係では、北海道文化放送（株）、成績優秀な個人・団体関係では、山本智大氏と村中 伸氏・明井寿枝氏の3名、指導者関係では、高体連から村上保嗣氏の追加推薦があり、総勢63個人、1団体を表彰候補として常任理事会に提案し、決定された。

4 報告事項

(1) 日協関係

午後から開催される理事会にて説明する。

(2) 各委員会

①総務委員会（齊藤総務委員長）

・今季、Vリーグのデンソーホームゲームが、11月20日（土）と21日（日）に、北ガスアリーナ札幌で開催となることから、加盟団体に観戦チケットの先行予約販売の案内をした。

デンソーアカデミー事務局では、札幌市内在住の小学5年生から中学2年生までの女子を対象に、11月から3月までバレーボールスクールが開催される。

・山本智大選手等への激励費贈呈とメッセージについて

東京2020オリンピックに出場した山本智大氏と、村中 伸氏、明井寿枝氏・正岡 卓氏に激励費を贈呈し、山本氏から預かったメッセージを理事会で披露する。

・2月常任理事会の日程を2月19日（土）から2月12日（土）に変更する。

②競技委員会（石崎競技委員長）

・既に多くの大会が中止となっている。

・選手権大会の日程は、令和4年度が11月15日～19日、令和5年度が11月14日～18日で仮予約。

・天皇杯皇后杯北海道ブロックラウンドは、10月23日女子、24日男子で東海大学札幌校舎にて実施。

③強化委員会（奥山強化委員長）

・国体中止に伴って、強化委員会事業費の高校分を中学分で支出予定。

④指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

・指導者育成リモートで開催

・1月5日～10日の2次キャンプは参加チーム数を減らし（男子20女子30）実施予定。

5月の選抜大会の選考も兼ねる。指導普及部内にコロナ部を設置、コロナ対策の研修会受講。
2次キャンプ実施の可否は11月23日に決定する。

⑤加盟団体

・高体連（藤原専門委員長）より、インターハイ予算が4,880万円となり、旭川、釧路と協議の上配分。10月に全国専門部から2名が来道し打ち合わせ予定。

ポロシャツ販売等で自助努力もしているが、道協会に費用面等でご協力をお願いしたい。

(3) その他

特になし

5 その他

特になし

6 閉会

【次回：令和3年10月9日（土）10時00分～ 北農健保会館】

議事録署名人

理事長

印藤 程一

議事録署名人

丸山 道博

議事録署名人

奥山 諭